

安全とあなたの 未来を支えます

Safety and Your Future with NITE

nite

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

- 国際評価技術分野
- 製品安全分野
- 化学物質管理分野
- バイオテクノロジー分野
- 適合性認定分野



日本の未来のために NITE で一緒に働いてみませんか？

製品評価技術基盤機構（NITE：ナイト、経済産業省所管の行政執行法人）では、役職員が国家公務員として、わが国の国際競争力の強化や国民生活の安全確保に貢献しています。



社会には、さまざまなリスクが潜み、それが顕在化して私たちに影響を及ぼしています。NITEは、社会に存在する安全や信頼性に関わるリスクを総合的に削減することを、その役割として期待されています。

NITEは、多数の専門分野を有する技術者集団です。NITE職員の一人一人が高度な技術を有しており、信頼できる確かな技術情報を収集、分析する能力に強みを持っています。

●おもな専門分野
電気・電子・情報、機械、物理、化学、農学、建築、資源工学、医学・薬学、行政

NITEの歩み

- 1928年（昭和3年） 輸出絹織物検査所 設立
- 1948年（昭和23年） 繊維製品検査所、試薬品検査所、機械器具検査所、日用品検査所 設立
- 1984年（昭和59年） 通商産業検査所 設立
- 2001年（平成13年） 独立行政法人製品評価技術基盤機構 設立

NITE は、自分を活かせる職場、未知の分野にもチャレンジできる職場です。

私たちと一緒に未来の誇りの持てる日本社会の形成のためにチャレンジしてみませんか。

『NITE長期ビジョン2030』

～経済産業通商政策上のリスクへの対応～

製品の安全、信頼、並びに環境・エネルギーについて、技術上の価値に関する情報を創出し、伝統産業・文化の観点を含めた評価基準を開発するとともに、国際展開を進め、豊かで誇りの持てる社会の形成に貢献する。

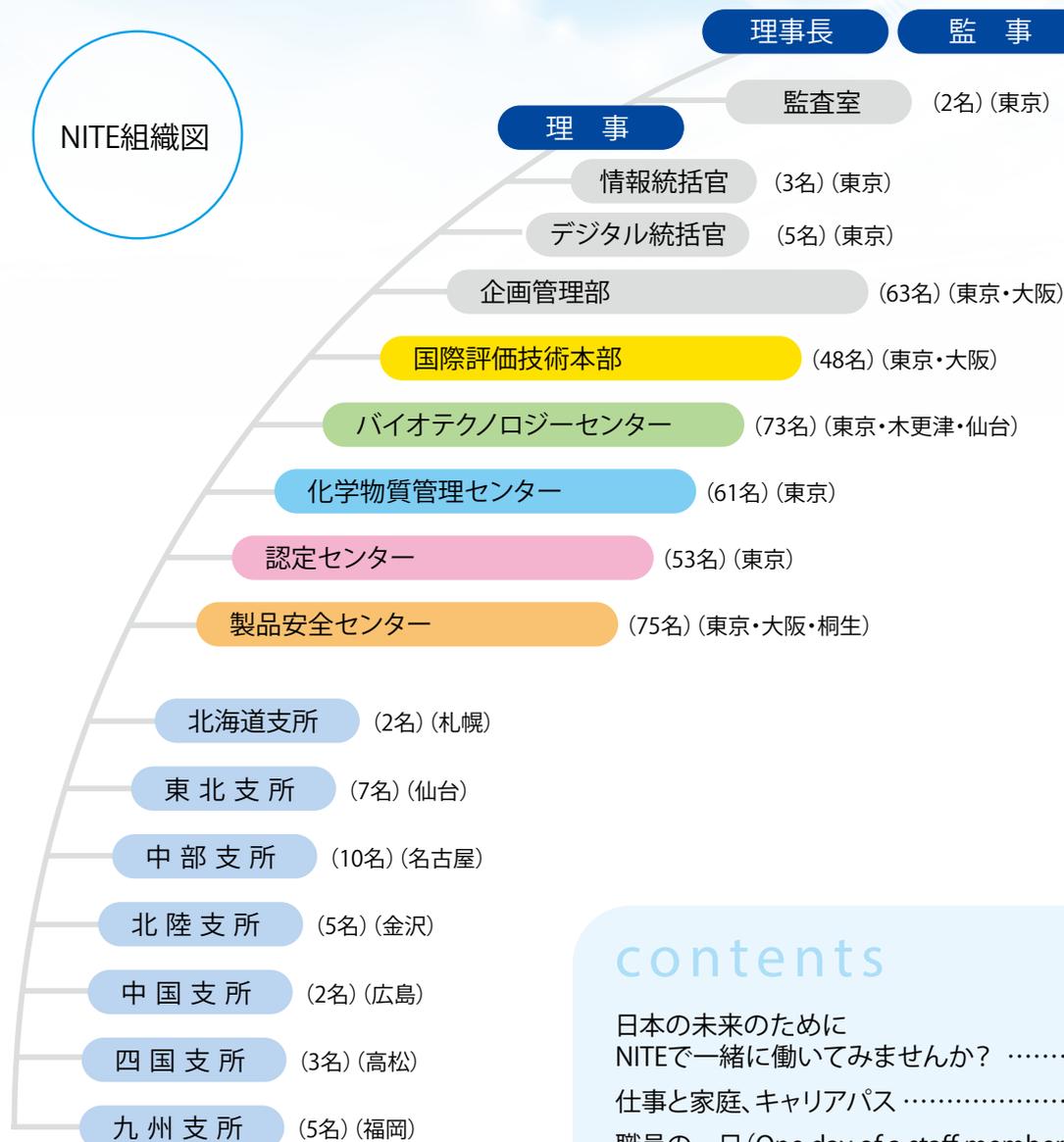


NITE長期ビジョン全文
<https://www.nite.go.jp/nite/aboutus/visionfor2030/index.html>

安全とあなたの未来を支えます

NITEの基本理念

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます



(2021年4月1日現在)

contents

日本の未来のために NITEと一緒に働いてみませんか?	1
仕事と家庭、キャリアパス	3
職員の日 (One day of a staff member)	5
業務紹介	7
NITEの5分野と所属する職員からのメッセージ	
企画管理／内部連携	
戦略的な広報・情報提供	
世界へ／国際的連携	
Q & A	21

『SDGsへの取組』



NITEは、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) という2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標に取り組んでいます。



NITEにおけるSDGsへの取組
<https://www.nite.go.jp/nite/aboutus/sdgs/index.html>



化学物質管理センター 連携企画課
課長

2009年入構 化学

吉田 しのぶ

Yoshida Shinobu

2006年 化学物質管理センター情報業務課(非常勤)
2009年 化学物質管理センター情報業務課(常勤)
2014年 化学物質管理センター情報業務課
/計画課国際・企画室併任
2018年 化学物質管理センター計画課
2020年 現職

公私ともに楽しく充実した生活を送っています

動機

前職は化学系のメーカーで、化学物質管理業務に十数年携わっており、当時からNITEの化学物質管理センターには、化審法(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)についての相談や、化学物質の法規制情報や有害性情報を調査するためのデータベースの利用で、とてもお世話になっておりました。

長女が小学校1年生になった時にいわゆる「1年生の壁」にぶつかり、家庭と仕事の両立に限界を感じたため退職。そのような中、NITE化学物質管理センターで、それまで毎日のようにお世話になっていたデータベースの更新に関わる職員の募集を見つけました。これはぜひやりたい!と思ったのと同時に、NITEなら家庭との両立が可能ではないかと思い応募しました。

仕事

転職をして配属された化学物質管理センター情報業務課では、それまでユーザーだった経験を活かし、データベースのデータ整備等に関わりました。2年半後に常勤職員となり、経済産業省が実施した毒性試験を評価する委員会の開催や、OECDや東南アジア等の国際会議への参加なども経験しました。その後、同センターの計画課でセンター全体の予算や運営管理なども経験し、2020年5月に新設された同センター連携企画課に課長として就任いたしました。



この連携企画課は、NITEを取り巻く環境が変化中、時代の変化に対応するために新設された組織で、他部門や他機関等と連携し、新しい価値を創造する課です。連携企画課に配属されている職員は、皆さんその道のスペシャリストばかり!頼もしい課員の皆さんとアンテナを高くし、世界に目を向け、新しい時代に求められる化学物質管理のあり方や、今まで化学物質管理センターが培った知見をどのような場面に応用出来るかを考え、形にすることを検討しています。

休日

いくつかパターンがありますが、一番多いのは、娘達と宝塚観劇や宝塚のDVDを楽しむこと。宝塚のオタク友達が加わることもありますし、コロナ禍の前はNITEの皆さんとも宝塚観劇会を開催したりしていました。年に数回は兵庫県の宝塚市にも行きますので、大阪事業所の方と観劇会をしたこともあります。

次に多いのが、夫と共通の趣味のオリエンテーリング。地図と方位磁石だけを頼りに、地図に記載されたコースを走って回ってきます。コースは年齢に合うものを選択できますし、大会会場に行くと、大学生時代の友達にも会うことができ、細く長く続けています。全国各地で大会が開催されるので、家族旅行を兼ねることもあります。

化学物質管理センター リスク評価課
専門官

2004年入構 農学

大西 洋平

Ohnishi Yohei

2004年 化学物質管理センター安全審査課
2008年 経済産業省 出向
2011年 化学物質管理センター安全審査課
2012年 化学物質管理センターリスク評価課先導評価支援室
2017年 化学物質管理センターリスク評価課
2018年 企画管理部経営企画課
育児休業取得
2019年 現職



NITEで仕事と家庭の相乗効果による充実した生活を送りませんか？

動機

大学では湖に発生するアオコの研究をしていたこともあり、環境関係や微生物関連の仕事に携わりたいと考えていました。大学院修了後、環境関係の民間企業に就職しましたが、環境保全と利益追求の両立はなかなか難しく、疑問に思うところがあり転職を考えました。転職活動では、技術系の公務員の存在を知り、その中でもNITEは化学物質管理分野やバイオテクノロジー分野があり、技術を用いた環境保全や微生物の活用により社会に貢献できる点に魅力を感じてNITEへの就職を希望しました。実際に働いてみると、様々な経験を通じて身につけた技術を活用して社会貢献のために純粋に仕事ができるため、思い切って転職して正解だったと思っています。

仕事



入構以来、化学物質管理の業務を中心に行ってきました。化学物質は幅広い産業において基幹的基礎素材となっており、私たちの快適な生活は化学物質を適切に利用することにより支えられていると言っても過言ではありません。しかしながら、化学物質は、その固有の性質として何らかの有害性を持つものが少なくなく、その取扱いや管理の方法によっては、人の健康や環境への影響をもたらす可能性があります。このため、化審法という法律に基づいて、化学物質が世の中に出る前の有害性等の審査や、化学物質の有害性と暴露を併せ勘案した「リスク」を評価し、リスクに応じた適切な管理を行うためのリスク評価の仕事を担当してきました。社

会に貢献できるとてもやりがいがある仕事です。

また、企画管理部で経営企画の業務も経験し、NITE全体の予算管理やSDG s の推進なども担当し、化学物質管理だけでなく広い視野を身につけることができました。

育児

NITEでは多くの男性が育児休業を取得しています。私も3年前に息子が生まれ、育児休業を取得しました。息子とたくさんの時間を過ごすことができる貴重な時間であるとともに、育児に慣れることができたので、職場復帰後も積極的に育児をする良いきっかけにもなりました。また、NITEでは育児時間(短時間勤務)、子の看護休暇など育児に関する制度が充実しています。私はフレックスタイム制度やテレワークを活用し、保育園の送り迎えなどを妻と分担しています。

このように、NITEは仕事と育児の両立ができる制度が整っており、実際に多く活用されています。ワークライフバランスの実現により、仕事と家庭の相乗効果による充実した生活を送りませんか？



職員の日

Shinoaki Hatsumi 東明 初実



職務内容

私が所属している事故調査統括課では、身の回りの製品による事故の原因を調査し、結果を公表しています。事故調査には、電気、機械、化学に関する案件があり、それらの調査を日々行っています。電気に関する案件であれば、製品に内蔵される基板や配線のX線解析等、化学に関する案件であれば、ガラスの破面解析、折れたプラスチックの組成分析など幅広い分野の調査を実施しています。

調査の結果が公表されると、より安全な製品の開発に役立てられるため、国民の安全な暮らしに貢献できることに大変やりがいを感じています。

また、私が勤務している大阪事業所をはじめ、NITEには数多くの高度な分析機器が整備されており、現在の部署では調査を実施する上で多岐にわたる分析技術が必要とされます。今後は幅広い分野における分析技術を習得し、常に信頼性の高いデータを提供できるよう心がけていきたいと考えています。

08:45

出勤。PCを起動させ、仕事を始める準備をします。少し早めにメールのチェックとスケジュールを確認

09:00

始業開始。本日使用する分析機器の状態を確認し、測定の前準備をしておきます。

09:30

事業者や消防から提出された事故報告書内容について電話で聞き取りを行います。



10:30

不具合のあった電気製品の基板に含まれる元素分析をします。



12:00

お昼になりました。女子更衣室にて、先輩方と楽しくおしゃべりしながらお昼ご飯を食べています。



13:00

皮膚障害の原因となった衣類の分析を行うため、衣類から抽出した原因物質を濃縮しています。



15:00

乳幼児の事故の再現実験のためダミー人形を準備しています。



16:00

グループ内で現在実施している試験内容の検討を行い、今後の分析計画を立てます。



17:00

分析結果を確認し、明日解析を実施します。試験器具などを洗い、後片付けをします。

17:45

今日は仕事を終えて帰宅します。一日お疲れ様でした。

認定センター 計量認定課
2013年入構 行政



職員の日

Sasaki Yuta 佐々木 優太

職務内容

私たちの暮らしと産業は、多種多様な計量器に支えられています。そしてそれらの計量器は、校正を経てその計量の信頼性が確保されています。

計量認定課では、主に、計量器の校正を実施する事業者について、特定の計量器の校正を実施する能力を有するとともに、該当する国際規格に適合した運営がされているかを審査し、認定しており、認定された事業者により校正された計量器による計量結果の信頼性を確保することにより、暮らしと産業の手助けを行っています。

日常の業務は、校正事業者からの認定申請等にかかる対応を中心としたデスクワークですが、認定審査員として、首都圏外の校正事業者の審査を担当するなど、出張する機会があります。

校正の対象となる計量器は多岐にわたるため、業務を通じて幅広い産業分野の情報に触れることができ、大変恵まれた環境であると感じています。

07:30

おはようございます。駅まで歩いて行き電車に乗り、職場に向かいます。

08:50

始業は9:00からです。本日の業務の内容を確認しておきます。



09:00

10:30に認定申請を検討している校正事業者が相談のために訪問される予定であるため、会議室や資料の準備をしつつ、その他のメール又は電話でのお問い合わせに対応します。

10:30

認定申請に関する質問に対し、理解しやすく、かつ正確に回答することを心がけます。

12:00

昼休みです。執務室で持参した昼食をとり、午後からの業務に備えて休息をとります。

13:00

14:00より、校正事業者の認定に係る審議を行う委員会が開催されます。事前に資料内容の確認し審議内容を把握しておきます。



14:00

委員会では、各産業分野の専門家である委員の方々からの貴重なご意見を頂戴することができ、大変勉強になります。

16:30

認定審査員として、2~3ヶ月後に現地審査を予定している案件の、事前書類審査を行います。



17:45

切りの良いところで作業を中断しました。明日の準備をして帰宅します。

20:00

帰宅後、明日の仕事に備えて早めに就寝します。お疲れ様でした。

国際評価技術分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、建築、物理、化学、行政

先端技術の安全性評価とグローバルな取り組み

今後普及し発展する可能性をもつ、新しい技術を利用した製品・システムについて、NITEはその安全性や信頼性の確保に努め、さきがけて社会に貢献していきます。



蓄電池評価センター [NLAB (エヌラブ)]
多目的大型実験棟 (大阪事業所)
大型蓄電池システムの安全性試験準備風景

(1) 大型の蓄電池システム

従来の蓄電池は、スマートフォンやパソコンに搭載される小型のものが主流でした。近年では、太陽光発電等の再生可能エネルギーで発電された電力の貯蔵、電力システムの周波数調整、電力の需給調整や停電時のバックアップを目的とした、スマートグリッド向けの大型の蓄電池システムが登場してきています。

NITEは、今後国内外で市場の拡大が期待されている大型の蓄電池システムについて、性能や安全性等の試験を行う世界最大級の試験・評価施設NLABの運用や、関連する新しい国際標準 (IEC) の開発、国際機関への提案を進めています。民間や研究機関から依頼を受け、国際標準に基づいた試験・評価をNLABで行うことにより、大型の蓄電池システムの安全な運用を目指すとともに、大型蓄電池システム市場における日本の国際競争力の向上に貢献します。

(2) ファインバブル (2022年3月で終了)

日本がリードする革新的な技術に「ファインバブル」があります。ファインバブルとは、液体中に存在する直径100 μ m未満の非常に小さな気泡のことです。ファインバブルは、電子産業、洗浄分野など、応用範囲の広さから大変注目されており、NITEはファインバブル製品の試験・評価方法開発や国際標準 (ISO) 開発の一翼を担っています。

<最近のトピック>

NITEが開発に協力したファインバブル応用技術の持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献評価を示したガイドラインがISO TR文書として発行されました。



(3) 電力安全技術支援業務

再生可能エネルギー発電設備導入拡大や自然災害の激甚化により、電気事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

NITEは、電気工作物の保安水準を今後も維持できるよう、国や関係団体等と密接に協力して、保安体制や規制制度の検討・整備に貢献します。具体的には、事故情報の収集や事故原因究明調査などに加え、2021年度からは再生可能エネルギー設備等に対する立入検査を行い、保安水準の更なる向上を目指しています。



多目的大型実験棟 (大阪事業所)



ファインバブルの測定準備風景



電気工作物の事故原因調査風景

国際評価技術本部 蓄電池評価センター
(2017年入構 化学)

柴田 宙延

Shibata Okinaga

2017年 国際評価技術本部
蓄電池評価センター 配属 現職



NITEを目指したきっかけ

私は官庁合同業務説明会で初めてNITEを知りましたが、その説明で、技術で日本経済の発展に貢献できるということを知り、強く魅力を感じたのがNITEを目指したきっかけです。

大学では理工学部で勉強をしてきたので「学んできた知識や技術をできるかぎり仕事とリンクさせたい」という視点で様々な官庁を調べました。調べた結果、技術を活かして働ける官庁はいくつかありましたが、日本経済に貢献でき、かつ、技術を活かして実際に手を動かし働ける点でNITEが最も理想的な組織でした。

現在私は国際評価技術本部の蓄電池評価センターで仕事をしておりますが、実際仕事では、学んできたことを活かせるシチュエーションがたくさんあります。また、日々の仕事を通して、今後世の中で必要とされる知識技術を多く学べる点も非常に魅力的です。さらに、それらを仕事にアウトプットすることで企業の方に感謝頂けるので、仕事も楽しいです。

現在担当している仕事

現在私は国際評価技術本部の蓄電池評価センターで、主に大型蓄電池システムの安全性評価試験をしています。

近年、世界は大気汚染や地球温暖化をもたらさないように、循環型エネルギー（太陽光発電・風力発電等）の比率を高めてゆかねばならない状況にあります。大型蓄電池システムは、ランダム性のある循環型エネルギーで発生した電気をいったん蓄え、その後、各家庭やオフィスに安定的に送電するための必須デバイスです。また、昨今のガソリン車からEV（電気自動車）へ各国がシフトしていく状況においても必要なデバイスとなっています。日本企業も日々、安全かつ高性能な大型蓄電池システムの開発に尽力しています。

私の役目は、その大型蓄電池システムの安全性評価試験を行うことで、日本企業の製品が安全に世の中に出荷できる状態を作り、日本経済に貢献するところにあります。実際に製品が発売されたり、実際に設置されている状況を見たり、企業の売上に貢献できていることを後に知れるので、こういったときにまさにやりがいを実感することができます。



Message: NITEでは日本経済、日本企業の発展ために最前線で活躍できます。

これまで学んできたことや、得意な分野をフルに活かして日本経済のために働いてみませんか？ NITEにはそれらを活かすことができる幅広い活躍のフィールドがあります。

また、NITEは新しく仕事に役立つ知識技術を学ぼうとする人材にとっても寛容な組織です。入所後も様々な外部研修や外部講習を受けることができます。もちろん仕事をしていたく上でも様々なことが吸収できます。

自分の強みを活かしながら、自身の成長と共に日本経済の発展のために共に働きましょう。



製品安全分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、化学、物理、建築、土木、行政



安全な生活は、製品事故の未然防止と再発防止から

私たちの生活の場には多種多様な製品が流通し、身近なところで製品に関する事故が起っています。NITE製品安全センターでは、日常生活で起こる製品事故を防ぎ、国民が安全に暮らせるよう、消費生活用製品に係る事故情報を基に調査・分析し、付加価値を付けた情報の発信を行っています。

X線透過撮影装置による解析(大阪事業所)

(1) 製品事故情報の収集、調査・分析、公表

消費生活用製品の事故情報を収集し、中立な立場から科学的に原因究明調査を行っています。調査結果は、「事故情報データベース」としてNITEのホームページで広く公表し、製品事故の再発・未然防止に貢献しています。

(2) 国の法施行業務・製品安全施策への支援

NITEは行政執行法人として国の各種法施行業務を支援しており、製品安全センターでは、製品安全4法(※)に基づく立入検査を行っています。

また、事故情報のリスク分析・評価や製品に共通する危険因子の解析、ヒヤリハット情報の分析を実施し、経済産業省に技術基準の改正や行政施策への提言を行っています。

(3) 消費者向け注意喚起

調査・分析の結果、誤使用や不注意が原因で多発していることが明らかになった事故については、安全な使用を啓発するための記者説明会を行い、テレビや新聞などマスメディアを通じた注意喚起を行っています。

また、最近ではYouTubeやTwitterを活用したSNSによる情報発信にも取り組んでいます。

<最近のトピック>

より安全・安心な社会には、製品事故の要因を知ることがとても重要です。「SAFE」は、NITEが行ってきた事故調査から、その要因をわかりやすく示したシステムです。事業者が商品開発でSAFEを参考とすることや、お使いの製品で不具合があったときにSAFEで調べること、事故防止につながることを期待しています。

製品安全センターでは、皆様の事故防止の取組を支援します。



事故情報の収集

化学分析による事故調査

事故同等製品による事故再現実験

注意喚起のインタビュー

事故原因区分	
年度番号	A201400707
品名	モバイルバッテリー（リチウムポリマー、ノートパソコン用）
型式機種	(空白)
製造・輸入・販売業者	(空白)
事故通知内容	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(事故発生地：岐阜県)
事故原因区分	E 2

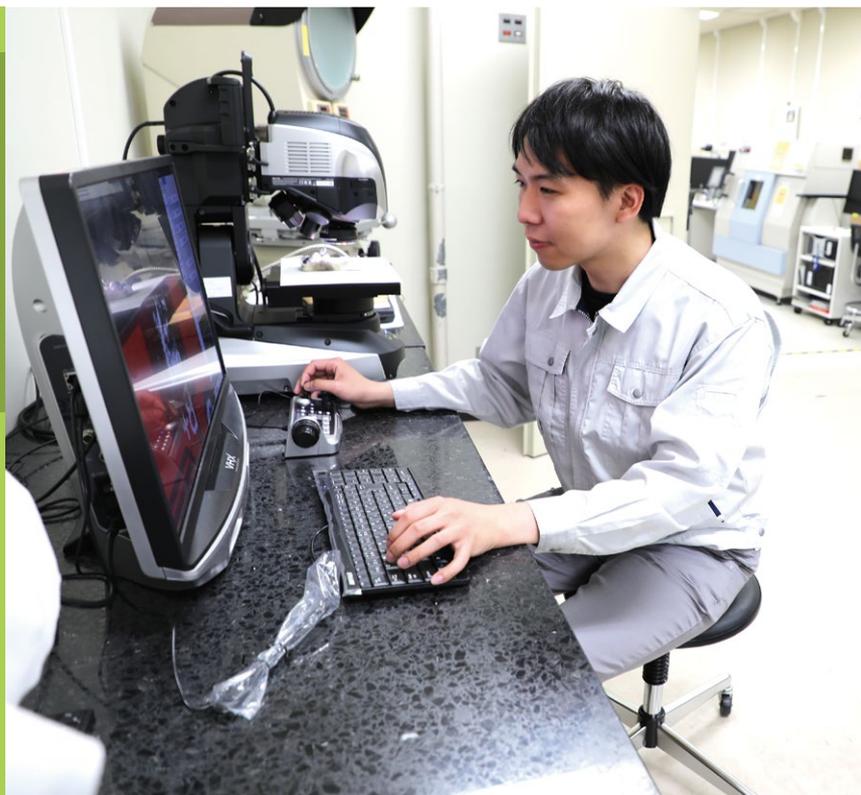
SAFEの検索結果例

(※) 製品安全4法: 「消費生活用製品安全法」、「電気用品安全法」、「ガス事業法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」

製品安全センター 事故調査課
(2016年入構 物理)

蜂屋 昌樹 Hachiyai Masaki

2016年 企画管理部経営企画課
2017年 製品安全センター 計画課
2019年 現職



NITEを目指したきっかけ

官庁合同業務説明会に参加し、中立な立場で公平、公正に技術的知見を活用し、国民の安全・安心に貢献することができるNITEに魅力を感じて入構を希望しました。

採用前は、NITEの業務内容と自分の専門性が合致しているか不安に感じることもありましたが、働き始めて分かったことはNITEの業務内容は多種多様でひとりでカバーする必要はないということです。職員みんなで協力しながら、「安全とあなたの未来を支えます」のスローガンを根底に共有しながら活動しています。もちろん、技術進歩に伴って目まぐるしく社会情勢が変化する中で、個人の知見をアップデートし続けていくことも求められますが、様々な研修を通じて必要な知識や技能を吸収するチャンスがあります。

多方面に好奇心を持ち、なにごとにも熱意を持って取り組める方を必要とするフィールドがNITEには広がっていると思います。



現在担当している仕事

私の所属する事故調査課では、自転車や冷蔵庫、パソコンといった私たちの身近にある製品（消費生活用製品）で発生した製品事故の原因究明を行っています。実際に事故品を分解して観察し、様々な分析機器を用いて測定するだけでなく、必要に応じて消費生活センターや消防・警察といった関係機関と協力しながら調査を進めています。

また、原因究明をより高度に行うための手法開発やその成果発表なども行っています。これまでになかった製品が続々と登場する中、過去と同じように調査をしていては解決できないことも多くあります。

そのような時は、ベテランも若手も分け隔てなく意見を出し合って解決策を模索します。

上司や同僚の思考力や問題解決力に圧倒されることも多いですが、年次にとらわれずよい意見が認められるため、自分なりに考えた取り組みを実践できる環境にあると思います。



Message: 製品安全を通じて世界と関わりあうことができます!

近年、インターネット市場における商取引が発展を遂げたことにより、身の回りには多くの海外製品が溢れています。そのため、製品安全は日本国内だけでなく、世界に目を向けて取り組むことが必要です。NITE製品安全分野では、海外の製品安全関係機関と連携して情報交換や技術交流を実施するなど、グローバルな視点から国内の製品安全を支える活動も行っています。



化学物質管理分野

こんな専門分野の職員が担当しています

化学、物理、電気・電子・情報、農学、土木、機械



化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小限に

経済社会の発展と国民生活の安定を支えるため、化学物質管理に関する技術的な基盤を整備し、国、地方自治体、研究機関、事業者、消費者などすべての関係者に対し、化学物質に関する科学的知見や法令・国際ルールに基づいた技術・情報面からのサポートを行っています。

(1) 化学物質管理に関する3つの法施行の円滑推進

・化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律関連業務

NITEは、新規化学物質の安全性に関する審査や化学物質のリスク評価、公示される化学物質への名称付与などにより、化審法の円滑な施行に貢献しています。また、消費者製品のリスク評価手法の開発・実施や化学物質の安全性をコンピュータで予測する解析手法の活用検討を行っています。

・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律関連業務

NITEは、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的とした化管法の円滑な運用に貢献しています。事業者から届出られた化学物質の環境への排出量等（PRTRデータ）の記録や集計・解析を行っています。また、PRTRデータを用いた地域ごとの届出排出量や大気中の化学物質の濃度を表示する「PRTRマップ」や、過年度データの比較報告書を作成し、公表しています。これらは、事業者や自治体等による自主管理のツールとして活用されています。

・化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律関連業務

NITEは、化学兵器の原料となりうる化学物質の適正管理のために、化学兵器禁止法に基づき、化学兵器禁止機関（OPCW）による検査に立ち会っています。

(2) 化学物質総合管理情報の整備・提供

NITEは、化学物質の法規制や有害性、リスク評価などに関する情報を、データベース「化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIIP）」やパンフレットを含む様々なメディアを通じて広く発信し、事業者による化学物質の自主管理などを支援しています。

また、化学物質管理の国際的な協調を進めるため、経済産業省と連携して、経済協力開発機構（OECD）の環境保健安全プログラムなどへの参加やアジアや欧米諸国との二国間協力関係の構築などに積極的に取り組んでいます。



化学物質の安全性をコンピュータで予測する解析手法



化学分析の様子（化学兵器禁止法関連業務）



国際学会での講演の様子

化学物質管理センター
リスク評価課
(2012年入構 化学)

堀田 麻子
Hotta Asako

2012年 認定センター 計量認定課 配属
2015年 認定センター 環境認定課
2016年 化学物質管理センター 計画課
2017年 現職



NITEを目指したきっかけ

子供の頃通っていた実験教室が大好きで、大学では化学を専攻、研究室でも実験が大好きでした。化学に関わる仕事をしたいと就職活動をしていく中で、公的な業務に何となく関心を持ち始め、理系のバックグラウンドを活かして行政、国の信頼に関わる仕事というのも面白いと思うようになったのが公務員を目指したきっかけです。

官庁合同業務説明会に参加するまでNITEことは全く知らなかったですが、説明対応してくださった職員の皆様の印象も良く、NITEで働くことを決めました。



現在担当している仕事

入構後は、認定センターで校正事業者や標準物質生産者の品質管理や技術能力を審査し認定する仕事をしました。審査員として審査に参加したり、認定する上での技術上のルール作りに携わりました。

その後、化学物質管理センターに異動し、現在は化審法に基づく化学物質のリスク評価や化学物質管理に係るアジアとの二国間協力などを担当しています。

また、1年半ほど米国環境保護庁にVisiting Scholarとして在籍し、米国の化学物質規制法におけるリスク評価を勉強しました。アメリカ人との仕事は、単に法規制を学ぶだけでなく、仕事のやり方、姿勢など学ぶことが多く、他では得がたい貴重な経験でした。また、ワシントンD.C.という政治の中心には世界中からの移民、国際機関で働く外国人など多種多様なバックグラウンドの人と出会う機会があり、仕事の内外で人生観や仕事観に大きな影響を受けた気がします。グローバル化と共に化学物質も国境を越え、日本国内外の法規制も状況も変わります。まだまだ知らないこと、学びたいと思えることが沢山あること、そして、学んだことを仕事に活かせたと実感できた瞬間あることが私のやりがいです。

Message: 就職活動は自分の人生を見つめるいいチャンスです

NITEで働いて良かったと思う一番の理由は“人”です。皆さんとても親切で優しく居心地が良いです。また、残業が少なく休暇が取りやすいのもメリットです。GWや夏休み、年始年末など長期休暇が取れるタイミングでは必ず、家族との海外旅行やアウトドアを、仕事後は5歳から続けているピアノを弾いたりして楽しんでます。

最近、バレエを久しぶりに再開したり、アメリカの友達との電話（英語の練習も兼ねて）も楽しみの一つです。就職活動は、様々な人に出会い、仕事観、仕事への姿勢を聞く貴重な機会です。可能な限り色々な場所に出向き話を聞いて、自分の望む働き方、自分らしく生活し仕事とは何かをとことん考えてみて下さい。その結果NITEに興味を持っていただけたら、とても嬉しい限りです。



バイオテクノロジー分野

こんな専門分野の職員が担当しています

農学、農業・農村工学、林学、化学、電気・電子・情報、物理



生物資源を産業に活かす

NITEは、微生物やその生産物等の利用における社会的リスクの低減を図りつつ、生物資源と関連する情報を集約し、利用を促進することで、バイオ産業の中長期的な発展に貢献しています。

(1) バイオエコノミー社会実現への貢献

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の融合によって、社会課題の解決と持続的な経済成長を両立させる「バイオエコノミー」という概念が世界的に注目されています。このような中、我が国において「微生物」などの生物資源のポテンシャルを最大限に活用し、バイオエコノミー社会の実現を目指す「バイオ戦略」が策定され国家戦略として推し進められています。

(2) 生物資源データプラットフォームをハブとしたバイオとデジタルの融合

NITEは世界トップクラスの生物資源機関(BRC)として、微生物を中心に約9万株の生物資源を収集し、提供しています。また、これらの生物資源の特性、生産能、ゲノムなどの情報に加え、企業や大学等が保有する有用な微生物とその情報を集約した「生物資源データプラットフォーム(DBRP)」を整備しています。生物資源とそれに関する情報の両方をユーザーが利用しやすい形で提供することで、生物資源とデジタル技術を用いた効率的な物質生産などのバイオものづくりを推進しています。また、微生物とその情報を持つ者と、使いたい者を繋ぐことにより、新たな連携によるイノベーション創出を支援しています。

(3) 特許法及び国際条約に基づく特許微生物寄託機関

微生物を利用した発明で特許を取得する場合、その微生物を特許寄託機関等に寄託し、第三者が入手出来る状態にする必要があります。NITEは、特許法施行規則第27条の2及び3に基づく我が国唯一の特許寄託機関として、また、特許手続上の微生物の寄託の国際的承認に関するブタペスト条約に基づく国際寄託当局として、微生物の寄託を受けて保管し法令上の有資格者に分譲しています。



生物資源の分譲用サンプル



遺伝子組換えで製造されるタンパク質繊維などの解析

(4) 生物資源に関する安全性の確保

バイオエコノミーの実現には、遺伝子組換えなどのバイオテクノロジーが重要な役割を果たします。しかし、遺伝子組換え生物が環境中に拡散すると生態系に影響を及ぼすおそれがあるため、その使用においては、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)により、届出や安全措置などを行う必要があります。NITEはカルタヘナ法に基づく経済産業省の安全性審査が円滑に進むよう、事業者の届出に対して審査や技術的支援を実施しています。

バイオテクノロジーセンター
生物多様性支援課
(2015年入構 化学)

増田 有紗

Masuda Arisa

2015年 バイオテクノロジーセンター
計画課 配属
2016年 バイオテクノロジーセンター
特許微生物寄託センター
2020年 バイオテクノロジーセンター
生物多様性支援課
2021年 経済産業省 出向



NITEを目指したきっかけ

私は就職活動において、大学で学んだ知識を活かせる機関に就職したいと思い、NITEの存在を知りました。さらにNITEの業務内容について説明を受けた際に、興味のある分野以外にも様々な専門分野を有する組織であることを知りました。希望する分野はありましたが、実際に経験してみないと自分に合う業務はわからないと考えていたため、NITEであれば経験を積みながら、キャリアプランを考えることができるのではないかと思いました。

私が配属されたバイオテクノロジーセンターでは、微生物の管理や研究以外にも、法律の執行を支援したり、海外の関係機関と連携する機会も多く、業務内容は多岐にわたります。バイオテクノロジーにおけるリスクを予防しながら、様々な視点でバイオ産業の発展に貢献できる点が魅力的だと感じています。

現在担当している仕事

私は現在、遺伝子組換え生物の使用規制の法律（カルタヘナ法）の執行のための支援を行っています。カルタヘナ法では、遺伝子組換え生物を使って鉱工業利用を行う際に、あらかじめ経済産業大臣による確認が必要な場合があります。現在担当している業務は、事業者の方が経済産業省へ提出する申請内容の審査を行ったり、申請書の記載方法等に関するご相談を受けたりと、事業者の方と直接やりとりをすることも多いです。

法律に基づいた重要な業務に携わることに責任感とやりがいを感じつつ、最新の遺伝子組換え技術についても勉強できるので、日々成長できているように感じています。

技術的な業務以外にも、課全体の業務を円滑に進めるために必要な業務も行っています。課員全員に関わる内容なので、こちらもやりがいを持って取り組んでいます。



Message: 公私ともに充実できる環境が整った職場だと思います

職場環境としては、周囲には尊敬できる上司も多いので、業務の進め方や技術的な面でも学ぶことが多いと感じます。質問や相談をしやすい雰囲気がありますので、とても働きやすい環境だと思います。

また休暇制度も充実しているので、仕事とプライベートにメリハリをつけて、生活できると思います。私の場合は、休日は友人や職場の同僚と出掛けることで、うまく気分転換ができています。公私ともに充実できる職場だと思いますので、NITEを是非志望していただけたらと思います。



適合性認定分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、物理、建築、土木、化学



現地審査のイメージ
(左:NITEの審査員/右:事業者の試験員)

試験・校正事業者等を審査する認定機関として信頼性を担保

市場のグローバル化にともない、貿易や取引手続きの統一化・簡素化が世界貿易機関(WTO)などで推進される一方、企業等のコンプライアンスも厳しく求められる時代となっています。

NITEは、ISO/IEC17025などの国際基準に基づいた認定を通じて、試験・測定データの信頼性や製品の品質を支えています。

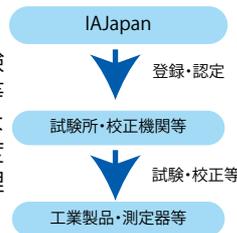
(1) 日本で唯一の公的認定機関

NITE認定センター (IAJapan (アイエイジャパン:International Accreditation Japan))は、試験・測定データの信頼性確保を目的とし、国際基準ISO/IEC17025*1等に基づいて試験所・校正機関などを審査・認定する公的認定機関です。



(2) 法令に基づく認定業務

IAJapanでは、産業標準化法 (JIS法) に基づく試験事業者登録制度 (JNLA)、計量法に基づく計測器等の校正事業者登録制度 (JCSS) やダイオキシン類など極微量物質の特定計量証明事業者認定制度 (MLAP) など、各種法令に基づき、事業者の品質管理や技術能力を審査し、認定しています。



(3) 政策的・社会的要請に対する認定業務

IAJapanでは、政策的取組の必要な分野や先端技術分野で民間同士の技術審査が困難であり、社会的要請が高い分野など、法令に基づく認定業務でカバーできない認定ニーズに対応するため、NITE独自の認定プログラム (ASNITE) を運営し、企業の海外展開などを支援しています。

(4) 国際相互承認への取組

IAJapan自身もISO/IEC17011*2という国際基準に基づくマネジメントシステムに従って運営しており、世界の認定機関間での相互承認のもと、4年ごとに国際評価チームの厳しい評価を受けています。これにより、IAJapanが認定した事業者が発行する校正証明書・試験報告書は、国際的な同等性が認められます。

また、IAJapan職員も他国の認定機関の国際評価チームに参加して、国際相互承認に貢献しています。



海外の認定機関による審査を評価する様子 (IAJapan職員は写真一番右)

「SDGsへの貢献～地球環境や動物福祉に配慮したアパレル製品の普及促進のために～」

オーガニックコットンやリサイクル繊維、虐待等の反福祉行為を一切排除した動物から得られるウールやダウンを使用したアパレル製品を対象とした国際的な認証制度に基づくASNITE認定プログラムを創設し、SDGs (持続可能な開発目標) 達成に貢献しています。



リサイクル製品を示す認証マーク

(※1) ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
(※2) ISO/IEC 17011 (JIS Q 17011) 適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項

身の回りの製品の品質保証や事業者の海外進出の支援まで幅広い業務があり、非常にやりがいのある仕事です

認定センター

試験認証認定課 製品認証認定室

(2010年入構 物理)

橋本 秀和

Hashimoto Hidekazu

2010年 認定センター 計画課 配属
2011年 認定センター 製品認証課
2013年 経済産業省 出向
2016年 認定センター 製品認証課
2017年 現職



NITEを目指したきっかけ

NITEを知ったのは官庁業務合同説明会でした。色々な技術分野の業務をされている職場だなと興味がわき、説明対応して下さった職員の皆様もフレンドリーでこの職場で働いてみたいと思うようになりました。

入構前は製品事故実験の映像の印象が強く、色々な実験を行っている場所なのかなと思っていましたが、実際にNITEで働き始めて、国内外の法規制等に基づいて我々が身近に使用する製品の安全を保障するための取組から、国や業界関係者等と共に企業の海外進出等のビジネス支援するための新制度の構築の検討の取組等、非常に幅広い業務を行っていることに驚きました。

NITEはこのように手を動かす実験から、制度構築に関わる業務まで非常に幅広い経験ができる、とても魅力的な職場だと感じています。



現在担当している仕事

世の中の製品が安全に使用できるのはなぜでしょうか。それは製品を試験するなどして法令や規格等で求められる基準を満たしているかどうか評価されているからです。製品の調達者の要求、あるいは製品の種類によっては法規制によって、国際水準を満たした第三者によってこの評価を実施することを求められることがあります。



試験認証認定課では、このような製品評価等を実施する第三者機関（試験所や認証機関）が国際水準を満たしているかどうか等を確認する、認定という業務を行っております。

カシヤ製品や電気用品等の我々の身の回りの製品の品質を保証するための認定等の業務から、鉄道やパワーコンディショナ等の製造事業者の海外進出を支援する認定業務まで幅広い業務があり、非常にやりがいのある仕事です。

Message: NITEは男性も非常に子育てしやすい環境だと思います。

休日は子育ての日々で色々なところを巡っています。まだ生まれたばかりなので、まずは身近なところから、徐々に距離を伸ばしているところで、世界が広がっていく感覚を改めて体験しているところです。

NITEは自分の業務状況に合わせて、休暇を調整しやすい職場なので、いずれは家族で遠出の旅行もできればと考えております。また、子供が生まれる前後は、年次休暇を利用させていただきましたし、他にも業務量の調整、出張予定の変更等、職場から多大なるサポートをいただき、本当に感謝です。

このように、NITEは男性であっても非常に子育てしやすい環境だと思います。



企画管理／内部連携

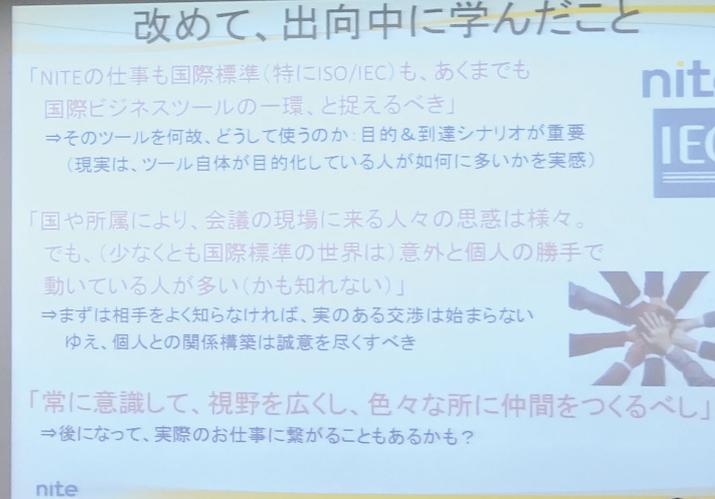
こんな専門分野の職員が担当しています

行政、電気・電子・情報、機械、化学、建築、土木

機動的な組織マネジメントと分野間連携

社会状況の変化に敏感に対応し、チャレンジ精神を持ち、内外の専門家と連携を取りながら、社会の要請に応えられる組織をめざしています。そんな全体の調整役が企画管理部門です。

NITEが保有している多様な分野の技術的知見、人材、設備を一体的に活用し、時には組織横断的なプロジェクトチームを編成して、分野間連携による課題の解決にも取り組んでいます。



「Working Session for Youth 2016」の様子
発表者の業務経験・体験を聴講し自分の将来像
(キャリア)を想い描く機会 【人材育成】

(1) 企画管理部門の取り組み

企画管理部門では、社会的要請に迅速に対応するため、また業務運営を効率的に実施するための職場内外の環境づくりに取り組んでいます。具体的には、業務・組織・予算・人事管理、広報、財務会計、情報システムに関する、総合的な企画立案・調整を行っています。

- 業務、組織、予算等の総合的な企画立案・調整など 【経営企画課】
- 職員の福利厚生、研修の実施、給与業務、ワークライフバランスの推進など 【人事企画課】
- 文書管理、施設・設備の管轄、法務対応、警備・防災、情報公開など 【総務課】
- 契約管理、資産・物品管理、財務諸表・決算報告の作成など 【財務・会計課】
- 情報システムの総合的な企画立案・調整 【情報システム課】



チームを組み、将来NITEが進むべき方向を検討

(2) 中長期的な視点

NITEでは、『長期ビジョン2030』のもと、中長期的な視点で業務のあり方を各分野の若手職員や幹部職員が議論し、中期方針を作り上げました。

企画管理部門では、そうした活動の中心となって、分野と連携し、コミュニケーションをとりながら成果に導いています。

(3) 内部連携による取り組み

異種の技術分野同士でコラボレーションして、課題を解決することができるのがNITEの特徴です。製品安全分野、バイオテクノロジー分野と化学物質管理分野が事故原因を究明し、その解析データが技術基準の策定につながった、という事例もあります。

こうした分野間の調整・連携が容易にできるのも機動的な内部組織、技術の複層化を進めているNITEの強みです。



企画管理部 財務・会計課
(2014年入構 行政)

金子 達也
kaneko Tatsuya

2014年 企画管理部 経営企画課 配属
2015年 製品安全センター 製品安全企画課
2017年 経済産業省 出向
2019年 現職



NITEを目指したきっかけ

NITEで働く前は民間企業で自社工場に導入する機械や装置の開発など技術系の仕事をしていました。

そんななか事務系の仕事に興味を持ちはじめた自分が生かせる職場を探していたところ、公務員という選択もあるのかな?と思い、行政機関で事務職として、今まで培ってきた経験や感性といった持ち味を生かした独自の視点から他の職員をサポートしたいと考えるようになりました。

国家公務員を目指してNITEに官庁訪問をしたところ、どの部門においてもコアとなる技術力を生かして行政への支援を行っていることを知りました。また、別の視点として、組織の経営状態が良好であることや様々な業務を経験できること、組織内外における風通しの良い職場環境や福利厚生等が整っている、この先長く働くうえで魅力的であると感じました。

NITEなら自分の経験を生かしつつ業務を通じて自分なりの目標を創出するができ、誰かの役にたって働くことができる職場と感じ、志望しました。

現在担当している仕事

NITEに入構後、組織の中核業務を担当している経営企画課、NITEで最も知名度の高い製品安全部門、NITEを所管する経済産業省への出向を経て、現在は財務・会計課で経理担当者として仕事をしています。

財務・会計課では、基本的に、外部との契約から支払いや入金までの手続きを行っており、日々適切な会計処理を行っています。一方で経理担当者の仕事は、1年間の集大成となる財務諸表等をまとめることが大きなミッションの一つであり、当該情報を組織内、経済産業省や国民等に周知することで組織の健全性等をアピールしています。

また、NITEの経理の仕事は、民間企業の会計処理とは異なることから、書店で販売されていない会計の参考書では学べない特殊な知識が求められるため、日々学ぶことがとても多いですが、非常にやりがいのある仕事だと感じています。



Message: サークル活動を通じた日々の充実感の向上へ

NITEでは有志によるサークル活動も盛んに行われています。テニス、バドミントン、フットサル、囲碁などありますが、僕は野球部に所属していて、仕事終わりの練習や休日の渋谷区主催の試合などに参加しています。単純に野球が好きだから参加している…。というのがありますが、活動を通じて普段の業務ではなかなか接点のない職場の仲間とも親しくなれて、職場だけでは分からないその人の良さを知る貴重な機会になることも野球部に所属している理由のひとつです。未経験者も多数所属していますので、皆さんもNITEに入構後に運動をしたくなった時は、一緒に野球をしましょう(笑)



戦略的な広報・情報提供

こんな専門分野の職員が担当しています
行政、農学、農業・農村工学、林学、建築、土木



記者説明会の様子(本所)

身近で役立つ情報を国民各層に向けて広報
NITEでは、プレスリリースによるマスメディアへの情報提供を積極的に実施しています。また、地域住民や小中学生向けのイベントや実験教室などの活動も行っており、地域社会や消費者、事業者等に向けて、多様な方法で情報提供、普及啓発に取り組んでいます。

(1) プレスリリースによる製品事故情報の提供

NITEでは、製品安全分野を中心に、毎月、プレスリリースによる記者説明会を開催しています。積極的な情報提供を行うことで新聞、テレビ等に取り上げられる回数も増えてきており、製品事故防止のための消費者への注意喚起につなげています。また、定期的にメールマガジンを配信するなど、有益な情報を幅広い読者に提供しています。

(2) オンラインでの教育コンテンツの発信

NITEでは、オンライン会議ツール等を使用した教育コンテンツ「NITE講座」を発信しています。NITEが行う業務は、消費者・事業者・地方自治体に密接に関係する法令・制度に基づいたものが多く、それらの説明やNITEが得られた情報の共有・発信を行っています



YouTube掲載のNITE講座



NITE講座の配信

(3) 各種データベース、SNS等による情報発信

NITEが保有する技術データなどは、わかりやすく容易に検索できる形でデータベースにし、事業者や消費者などに向けて公開しています。また、最新情報を提供するため、メールマガジンを配信しています。さらに、ソーシャルメディアの活用も進めており、YouTubeの公式チャンネルやTwitterの公式アカウントを開設しています。

世界へ／国際的連携

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、物理、化学、農学、行政



(1) 海外の関係機関との連携を強化

製品安全分野では、国際消費者製品健康安全機構 (ICPHSO) 等の製品安全セミナーに出席し、海外製品安全情報の取得や関係機関と会合を行っています。また、米国、中国等の製品安全に係る機関と協力文書を締結し会議や技術交流を実施するなど、積極的に連携を深めています。

(2) 国際的な信頼性の維持・向上

適合性認定分野関連では、試験所、校正機関、標準物質生産者及び製品認証機関の認定に関して、アジア太平洋認定協力機構 (APAC)、国際試験所認定協力機構 (ILAC) 及び国際認定フォーラム (IAF) の国際相互承認に署名するとともに、各機関において主要ポジションを確保し、国際規格等の改正に貢献しています。

国際相互承認により、認定センター (IAJapan) が認定した事業者が発行する証明書・認証書は国際的な同等性が認められ、日本製品の海外市場における信頼性の向上に貢献し、競争力強化につながるものと期待されます。



製品認証機関の認定に関する相互承認 (MLA)

(3) アジア諸国との連携強化 /生物利用の相互協力

海外の生物資源の利用にあたっては、生物多様性条約により提供国の事前合意と公正かつ衡平な利益配分が求められます。バイオテクノロジー分野では、日本国内の企業や研究者が継続的に海外の生物資源を利用できるよう、ベトナム、モンゴル、タイ等のアジア諸国との間で合意を行い、利用環境を整備しています。

また、アジア諸国の生物保存機関とコンソーシアムを組織し、情報交換することで、生物資源を相互利用するための国際的な取組を行っています。



微生物保存機関のコンソーシアム会合

Q & A

Q 独立行政法人とは、どのような機関ですか？

- A** 独立行政法人とは、国の一組織として府省に属していた、主に行政の実施部門や研究部門を独立させた機関です。また独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事業を正確かつ確実に執行することが求められる機関を行政執行法人といいます。
- NITEは、経済産業省所管の行政執行法人であり、職員の身分は国家公務員となっています。

Q キャリアパスは怎么样了か？

- A** NITEは、職員一人一人の専門性(バックグラウンド)を踏まえた上で、各部門での業務経験を経て技術を獲得し、内外の要請に応えられる専門家(プロフェッショナル)を目指してもらいます。そこで1つの業務における人材育成期間を5年程度とし、中長期的な人材育成を行っています。

出向

- **経済産業省等の他機関への出向**
関係行政機関と密接な連携のもと、広い視野を有する人材の育成の観点から他機関との人事交流を推進しています。
- **海外を含む大学院、政府機関等への派遣**
高度な専門性や国際性を身につけるため、大学院博士課程やEPA(米国環境保護庁)などへ職員を派遣しています。

研修

- **新規採用職員研修**
社会人としての基本から、NITE各分野の業務、経済産業省の政策などを学ぶための広範囲なカリキュラムを用意しています。
 - **その他の研修**
経営マネジメント研修やダイバーシティ研修などのマネジメントスキル向上やキャリアアップの研修に力を入れています。
- このほか、階層別職員研修や業務に応じた各種の専門研修を実施しています。



研修の様子



キャリアパスイメージ

- **入構10年目くらいまで**
 - 原則、複数の専門分野(技術部門又は管理部門)での経験
 - 経済産業省等への出向経験
- **入構10年目以降**
 - 複数の専門分野を持つ者は専門分野を行き来(3～5年)してスキルアップ
 - 2つ目の専門分野への挑戦
- **40～45歳以降**
 - 専門分野又はそれ以外の分野でのマネジメントへの挑戦、経験蓄積
- **50歳以降**
 - 専門分野又はそれ以外の分野でのマネジメント実践

Q 勤務時間や休暇は怎么样了か？

- A** 勤務時間は1日7時間45分です。フレックスタイム制も選択できます。土・日曜日及び祝日、年末・年始、創立記念日(5月1日)は休日となります。休暇は、年次休暇として20日/年(4月1日採用の場合、初年は15日)、特別休暇として、夏季休暇3日、結婚休暇5日、出産、忌引、ボランティア休暇、病気休暇等があります。

○1か月当たりの時間外勤務(残業):11時間/人 ○1年間の年次休暇の取得状況:15日/人

Q & A

Q 初任給はいくらですか？

A 東京に勤務する場合、大卒で月額218,640円、院卒（修士課程）で234,800円（2020年度）です。この他に家族、住居、通勤状況等に応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。また、期末・業績手当（いわゆるボーナス）が年2回支給されます。

Q 福利厚生にはどのような制度がありますか？

A NITEは国家公務員共済組合に加入しており、傷病に際しての療養費の給付、出産に際しての出産費給付等様々な給付制度をはじめ、退職年金制度、貸付制度など職員とその家族の生活のための制度が用意されています。さらに、有志で活動している野球部やバドミントン同好会などのサークル活動もあります。

Q 育児や介護と仕事を両立できますか？

A NITEでは、働きやすい環境をつくるために、育児休業制度、育児短時間勤務制度、介護休暇制度を用意しています。特に女性職員の育児休業取得率と職務復帰率は100%です。最近では、積極的な育児参加のために育児休業（パパ育休）を取得する男性職員も増えています。

NITEには、仕事と育児・介護の両立を支援する様々な制度があります。

育児

産前産後休暇：出産予定日の6週前から、産後8週を経過するまでの休暇制度。

育児休業：子を養育するために、一定期間休業することを認める制度。（最長で子が3歳に達するまで）

育児短時間勤務：子が小学校に就学するまで、短い勤務時間で勤務することができる制度。

育児時間：子が小学校3学年の終期に達するまで、1日の勤務時間の一部を勤務しないことを認める制度。（1日2時間まで）

男性職員の場合は、下記の特別休暇制度もあります

配偶者出産休暇：妻の出産時の入退院の付添いや世話のために休むことができる制度。

育児参加のための休暇：妻の産前・産後期間中に、出産に係る子や未就学の子を養育するために休むことができる制度。

介護

子の看護休暇：養育する未就学の子の看護のために休むことができる制度。

介護休暇：日常生活に支障がある者（要介護者）の介護をするため、勤務しないことを認める制度。（最長6ヶ月まで）

介護時間：日常生活に支障がある者（要介護者）の介護をするため、1日の勤務時間の一部を勤務しないことを認める制度。（1日2時間まで）

Q 試験区別の採用実績はどのようになっていますか？

A 過去5年間の採用状況は以下のとおりです。試験区分ごとの人数は実績であり、上限ではありません。試験区分にとらわれず採用を行っています。

年度別採用状況（一般職試験・大卒程度／高卒者）

年度 \ 区分	化学	農学	電気情報	機械	物理	行政	その他（建築・林学）	事務（高卒者）	計
2016年度	5 (2)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	11 (4)
2017年度	2 (2)	2 (0)	6 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	17 (5)
2018年度	4 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (2)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	18 (4)
2019年度	4 (3)	2 (1)	3 (0)	2 (0)	1 (1)	4 (3)	2 (0)	0 (0)	18 (8)
2020年度	4 (3)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (6)

・()は女性の人数(内数)

・国家公務員一般職試験・大卒程度／高卒者任用候補者名簿からの採用者数

nite

National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

企画管理部 人事企画課
〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-4 9-1 0
TEL: 03-3481-0952
E-mail: saiyou@nite.go.jp



NITE 採用
<https://www.nite.go.jp/nite/saiyou/koumuin/index.html>



YouTube

